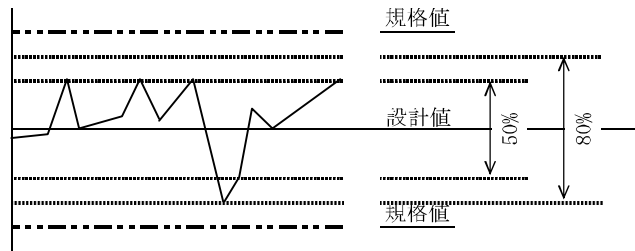
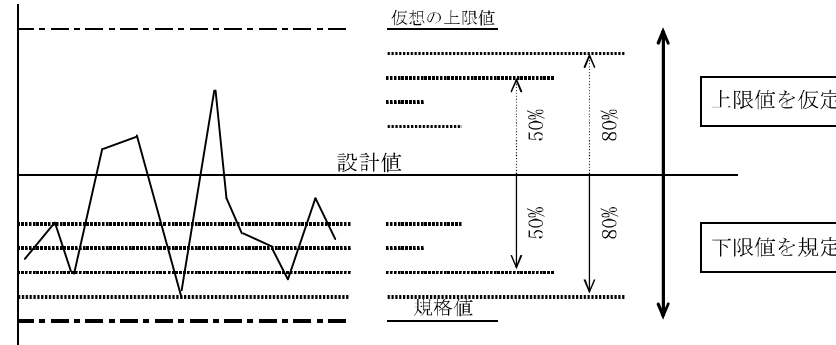


1. 出来形及び品質のばらつき考え方

〔管理図の場合〕



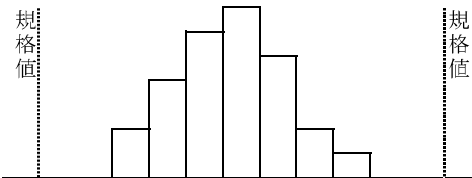
〔下限値のみの場合〕



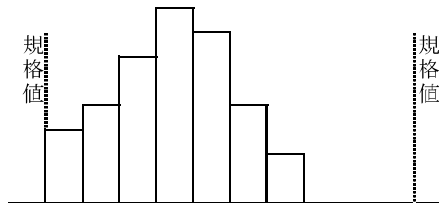
※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定してばらつきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕

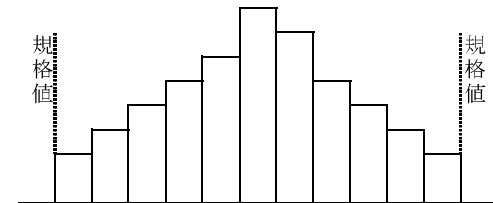
ばらつきが少ない



ばらついている



ばらつきが大きい



2. 多工種複合工事の取り扱い

(1) 主たる工種で考査する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- (1) クラックが発生した構造物では、「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、C評価とする。
- (2) 「進行性または有害なクラックがある」場合は未処理の場合は、状況に応じてdまたはe評価とする。